

# TO BE!

東北文教大学で  
見つける、叶える。  
なりたい自分へ進行中。



(( 就活を知ろう ))

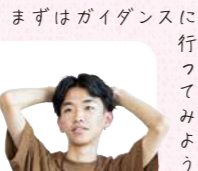
訪問!

# 進路支援センター



就職活動って難しそう、なんだか気が進まない…。そんな思いを抱く学生もいます。でも、そんな学生にこそ利用してもらいたいのが「進路支援センター」。わからないこと、不安なことを相談してみれば、就職への突破口が開けるかもしれません！編入学や進学に対してもサポートします！

Question **Q1** 就職活動って何から始めたらいいの？



Answer **就活のスタートはここから！進路ガイダンスに参加しよう**

まずはガイダンスに行ってみよう。すべての学科で1年次より進路ガイダンスを行っています。ガイダンスは、教職、保育専門職、福祉職、企業・団体職と希望する進路に分かれていて、業界・業種を知ることから始まります。キャリアカウンセラーや、実際に働いている社会人の方、企業の人事担当者の方たちを講師に招き、職業人としての講話や現場で必要とされる人材について貴重な情報を得ることができます。また、先輩(卒業生や在学生)から、就職活動の実際や成果、就職後の話を聞く機会も。その他、インターンシップ活動や履歴書の書き方、面接対策、模擬試験など、就職活動スタートから内定まですべてを網羅した内容のガイダンスを実施しています。

### POINT!

#### 自分を知る(自己分析)

- ・自分の良さに気づく
- ・良さを知る
- ・長所を分析する

#### キャリアデザイン

(自分の将来をイメージする)

#### いろいろな職業を調べる

- ・どんなことに興味を持っているか?
- ・得意なこと、好きなことに関連する仕事を探してみる

## 進路支援センターに相談!

進路変更をしたい  
(ずっと教員になりたいと思っていたけど、〇〇業界が気になる)

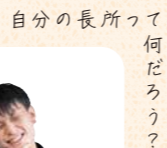
進路が決まらない  
(進学・留学? 企業団体・専門職? ...)

関東に就職したいけど、どうやって探せばいい?

公務員を目指しているけど、どんな支援があるの?

どんな悩みや質問でも大丈夫。センター職員が“個別に”“丁寧に”対応します!

Question **Q2** 自己PRにはどんなことを書けばいい?



Answer **自分の長所を見つめ 経験を振り返ってみよう**

あなたの特徴(長所、個性など)や経験から得たことなどを書きます。これまで何に、どのように取り組んできたか? 取り組んでいるか? なぜ、取り組んでいるのか? それから得たことは何か? 何に興味があるのか? 自分の長所は何か? 得意なことは何か? などなど、自分の経験や特徴を見つめることから始めましょう。進路ガイダンスでも、少しずつ積み上げていきます。

Question **Q3** 面接やグループディスカッションに向けて、どんな対策をすれば……



Answer **本番を想定して練習を重ねるのが大事!**

企業研究会、専門職(保育職・介護職)セミナーにおいて模擬面接会を実施し面接対策を行うほか、進路ガイダンスでは外部講師によるグループディスカッションの演習を実施しています。授業でも対話的な学習を重視し、グループワークも多く取り入れているので、積極的に授業に取り組むことが、採用試験での面接やグループディスカッション対策につながります。

### POINT!

普段から、いろいろな(年代もいろいろ)人とコミュニケーションをとろう

自分を表現することを楽しもう

自分の考えを持とう

自分の心に壁を作らないようにしましょう

日常の取り組み、態度、姿勢が本番で表れます



Question **Q4** インターンシップはどんなことをするの?



Answer **希望の仕事を体験できるインターンシップに参加しよう!**

職業体験をします。一般的(正式)には5日間以上ですが、本学では、短期間(5日以内)だとしても、志望職種の見学や体験をおすすめしています。実務体験を通じて自分の適性や能力に気づくことができ、その仕事の魅力ややりがいを感じる事ができる貴重な体験となります。

Question **Q5** 自分に合う就職先(企業・施設など)を見つけるには?



Answer **企業説明会やインターンシップで企業のリアルを知ろう!**

県内を中心とした企業の採用(人事)担当者の方が説明して下さる学内企業説明会を実施しています。また、進路支援センターの隣にある進路資料室では、企業や施設のパンフレット、過去の求人票、学生の受験報告書を閲覧できるので、ぜひ活用してください。企業などが行う説明会やインターンシップに参加して、いろいろな職場に触れることも大切です。

大変な就活のなかでも“喜び”を見つけられた!

## センパイの就活体験記

就活でやっておいて良かったことは?

進路ガイダンスに参加していたことです! 就活を始めるのが遅めでしたが、ガイダンスに参加していたことで、やるべきことが何かわかっていて、落ち着いて取り組むことができました。

就活でやっておけば良かった後悔や反省は?

インターンシップへ参加しておけば良かったと後悔。対面の企業説明会に参加するようになると、webでお話を聞くのと、実際にお会いして聞くのでは印象や理解度がかなり違いました。

奈良崎 杏実さん 人間科学部 人間関係学科4年  
山形県立山形西高等学校 出身  
内定先: 地元銀行

進路支援センターをどう利用した?

どんな企業がいいのかの企業選びの相談や、エントリーシートを添削してもらったり、先輩方が面接で聞かれた質問の資料を見せてもらったり、何から何まで全部相談していました。

これから就活する学生さんへ応援メッセージを

とても緊張したり、やりたくないと感じたりすることもあるかと思いますが、面接で自分の強みを褒めていただいたり、次の選考への案内や内々定をいただいたりしたときの喜びはひとしおです! 友人や先輩、センターの方々にもたくさん頼って、相談して、乗り越えてください!

## My 就活スケジュール

- 2~3年前期 web合同説明会に参加 自己分析、SPI対策
- 3年11月~12月 合同説明会(対面)に参加
- 3年1月~2月 会社説明会に参加
- 3年3月 会社説明会に参加、エントリーシート提出
- 4年4月 一次選考と少し面接
- 4年5月 たくさん面接
- 4年6月 内々定



# 私のイチオシ授業

はコレ! 

TOHOKU BUNKYO

# my BEST CLASS

今回は東北文教大生の“学び”をクローズアップ! 数ある授業の中で、好きな授業、印象に残った授業など、イチオシ授業について教えてもらいました。これまで知らなかったことに出会えたり、経験できたり。意外と知らない他学科の学びにも注目です。

## 特別支援教育

杉中 拓央先生

UNIVERSAL DESIGN



人の色覚の多様性を体験  
より理解が深まった

人間科学部 子ども教育学科/4年  
阿部 知優さん  
山形県立酒田西高等学校 出身

特別な支援が必要な人への教育の仕方などを学ぶ授業。スマートフォンのアプリで人の色覚の多様性を、学校を歩いて写真を撮って見てみたり、授業の終わりに振り返りのクイズがあったり、具体的な体験から学べるので視野が広がりました。将来は保育職を目指し、保育施設でアルバイトをしています。多くの人と関わることを楽しんで、いろんな考え方や感じ方を自分に取り入れていきたいです。

人の色覚の多様性。  
こんなにも  
違って見えます!



## 算数科教育法

鈴木 一尋先生



TRIAL LESSON



仲間の模擬授業から  
得られる気づきがある!

人間科学部 子ども教育学科/4年  
伊藤 舞桜さん  
秋田県立横手高等学校 出身

算数の模擬授業をするのですが、指導案から教材作り、45分の模擬授業まで丸々1人でやります。仲間の模擬授業も見ることができ、言葉の選び方や教え方の工夫などとても参考になります。昨年の実習の際も授業の経験が活かされているなど実感。現在は教員採用試験の2次試験へ向けて勉強中! 今しかできないことをやろうと、神戸や和歌山など行ったことのない土地への旅行を楽しんでいます!

指導案や授業の  
組み立て方をしっかり  
指導してもらえます!



## 保育内容総論I

奥山 優佳先生



多様な見方に触れられる  
グループワーク

人間科学部 子ども教育学科/3年  
大嶋 航記さん  
山形県立米沢商業高等学校 出身

子どもに対する多様な  
捉え方を知ることができる  
グループワーク



グループワークを通して子どもの行動や気持ちを話し合い、関わり方を学びます。子どもが遊んでいるビデオを見た後に、その子がどうして泣いたのか、けんかが起きたときにどんな気持ちだったのか、などを学生同士で話し合います。自分とは違う意見に触れるので、視野が広がります。その経験が実習先や学童のアルバイトでも生かされていて、子どもの思いに共感して関わられるようになりました。

## 卒業研究

宮下 通先生

CREATIVE DRAMA



みんなと創り上げる  
創作オペレッタ

短期大学部 子ども学科/2年  
佐藤 みやさん  
山形県立鶴岡中央高等学校 出身

子どもも大人も楽しめる  
ファンタジーなストーリー  
を創作中



「子どもフォーラム」で発表する「創作オペレッタ」の準備を進めています。ストーリーの軸をみんなで考え、脚本や役者もすべて学生たちで行います。子どもにも伝わるセリフや動きを表現するのは難しいですが、意見を出し合いながら一つのものを創っている感覚がすごく楽しいです! ピアノの弾き語りの練習や子どもの発達への理解を深め、保育者としての知識や技能を身に付けていきたいです。

PIANO LESSONS

## 音楽の基礎A

郷津 幸男先生



褒めて伸ばしてくれるから  
歌うのが楽しい!

短期大学部 子ども学科/1年  
荒井 美虹さん  
東海大学山形高等学校 出身

「音楽の基礎」の中でも  
ピアノを弾くのが  
実は一番好き!



先生のピアノに合わせて「たなばたさま」「かえるの合唱」などの歌を歌います。人前で歌うのは苦手なのですが、褒めて伸ばしてくれる先生で、歌った後に先生がアドバイスをしてくれ、褒めてくれるので励みになっています。学童のアルバイトでは、小学生との関わり方や信頼関係の築き方について考えながら接しています。学童には大学の先輩方も多く、大学の話をたくさん聞けるのも楽しいです!

COMMUNICATION

## 人間関係プロジェクトB・C

橋本 美香先生・松田 浩平先生・  
永盛 善博先生・澤 恩嬉先生



自分でアポ取りから見学まで  
行動力が身に付いた!

人間科学部 人間関係学科/3年  
長岡 光希さん  
山形県立谷地高等学校 出身

グループワークを通して  
コミュニケーション能力を  
アップさせたい!



自分でアポを取り取材や見学をする授業で、認知症カフェと医療的ケア児支援センターに行きました。山形市の認知症カフェの活動内容を知り、所属する認知症カフェ同好会の活動にも役立てられそうです。医療的ケア児支援センターでは、抱えている問題や今後どんな活動をしていけば良いかを学べたので、卒業研究に生かしたいです。4月から編入し、社会福祉士の資格取得を目指して頑張っています!

## 心理学実験B

松田 浩平先生・永盛 善博先生  
福田 真一先生



人間の行動や心理を  
読み取る実験が面白い!

人間科学部 人間関係学科/3年  
高橋 真凜さん  
山形県立山形北高等学校 出身

実験は白衣で!  
使ったことのない  
装置を使えます!



心理学的研究に基づいて実験を行う授業です。頭に吸盤をつけ脳の中の血流を測ったり、箸で豆をつかんで移動する競争をしてその時間を測ったり、実際にデータを取って統計・分析し、そこから行動の傾向や人間の心理を読み取るのが面白いです。課題研究では実験の手続きや研究の仕方、実験後のレポートをすべて自分で行う必要があるため、それらの過程をしっかり学び生かしていきたいです。

## プロジェクトツアーB

阿部 裕美先生  
黒沢 晶子先生



地元の魅力を世界へ  
対話を重ねてポップ制作

人間科学部 人間関係学科/3年  
岩淵 礼姫さん  
山形県立天童高等学校 出身

こんやくゼリーと  
玉こんにやくのポップの  
デザインに挑戦!



地元を世界にアピールすることをテーマにした授業。今回は「丹野こんにやく」さんのご協力のもと、こんにやくの魅力の世界に発信するためのパンフレットやポップを作成。分かりやすいデザインや言葉を考えたり、商品への想いを社長さんに聞いたり、外国向けの表現を県の国際交流員の方たちに相談したり。そうした経験の中で、想像力や発想力、コミュニケーション力が磨かれたと感じます。



子ども教育学科 准教授

石井 裕明

ISHII HIROAKI

運動は楽しくて  
人との関わりを生む  
コミュニケーションの手段

小さい頃に多くの経験を積み重ねることが将来につながる

Q 先生は小さい頃、運動が苦手だったそうですが、苦手なのに「体育」を指導するようになったきっかけは。  
A 小学生の頃は背が小さく、体重も重くて、それが原因で運動ができないんだと思っていました。ところが、背が小さくても足が速い子や、ぼっちゃりさんでもいろいろなことを器用にできる子がいる。友達と遊ぶ中で運動が苦手な理由が「体格」だけじゃないんだろうと思うように。それに運動は苦手でしたが嫌いではなかった。走ることや球技は苦手でも泳ぐことだけはできた。それが自信につながり運動をずっと嫌いにならなかったのが、今に至っている理由の一つかもしれません。  
Q ずっと逆上がりができなかったとのこと。  
A 23歳にして逆上がりができるという経験をしました。大学院では器械運動の指導法を教わり、自分のサイズに合う鉄棒で練習できました。後から思うと、逆上がりができるための経験が積み重なり、23

歳でようやくできるタイミングになったんだなど、体育を学ぶ中でわかったことは、できないも大事ですが、やったかやらないかをもっと大事だということ。小さい頃に多くの経験をしておくとき必要ときに突如できるようになることを学びました。

“できない”を共有し  
笑いが生まれる

Q 運動が苦手な学生にも楽しんでもらうために、授業で工夫していることは。  
A “普段やらない動き”を取り入れています。例えば、準備運動では足の小指側で立ち、そこから膝を曲げて屈伸をします。普段使っていない使い方をすると体の使い方がわかってきます。さらに、みんなで初めてのことをやったらみんなで“できないを共有できる”。できなくて起きる笑いがたくさん起きれば楽しい雰囲気が生まれますね。授業では運動は“コミュニケーションの手段”であると伝え、上手い下手ではなく、運動を通じて他の受講生とどう関わろうとしてい

るか大切にしています。

Q 子どもが「体育」や「体の動かし方」を経験することで、育まれる力とは。  
A 体が一番身近な道具で、それを上手く使って得る成功体験は、いろいろな場面で生きてきますし、コミュニケーションの手段として多くの人と関わるができます。運動能力は実は“遺伝”ではなく“遺伝的要因”。遺伝的要因とは生まれてからそこに至るまでの生活の中で、どれくらい経験したかということ。ですから、子どもに経験をどれだけ提供できるかが大きい。放っておいても遊び相手がいた昔と違い、今は親が子どもに関わらないとその経験ができません。そうした現状を教員としてしっかり伝えていきたいですね。



山形市球技場で行われている「はだして外遊び教室」では講師も務める

教員プロフィール／東北文教大学 人間科学部 子ども教育学科 准教授。東北学院大学 大学院 人間情報学研究科博士課程後期単位取得退学。小学校教諭を目指す学生への「体育の指導法の科目」や、保育者志望の学生への「遊びや身体の動かし方についての科目」などを担当。付属幼稚園の運動教室でも指導を行っている。

NOTICE BOARD

REPORT 留学生別科課外活動



2024年6月19日(水)、留学生が山寺で課外活動を実施しました。  
参加したのは、留学生別科生と協定大学(サイバー韓国語大学、台湾銘伝大学)の交換留学生です。  
午前に、立石寺の階段を上って五大堂からの絶景を楽しみました。また午後には、陶芸体験やさくらんぼ狩りもおこないました。山形の文化にふれながら、親睦を深める貴重な機会となりました。

REPORT 児童文化部 手遊び講座に参画  
令和6年度未来の参画者養成事業  
MYボランティアスタートアップセミナー



2024年6月23日(日)、天童市の山形県青年の家において、村山教育事務所社会教育課主催のセミナーが開催されました。対象は村山地区の中学生であり、25名の中学生が参加しました。当日、東北文教大学児童文化部の学生2名が「手遊び講座」を担当し、実技講座をさせていただきました。

子ども教育学科3年 児童文化部部長 松田綾菜  
今まで中学生向けイベントに参加する機会がありませんでした。今回のイベントを通して、中学生の学びたいという純粋な気持ちに触れることができ、私にとっての良い刺激になりました。また、手遊びを教えるという機会もなかったのですが、授業や部活動で学んだことを振り返り活かしながら、中学生に手遊びの楽しさを伝えることができました。楽しく和気あいあいと一緒に遊ぶことができて良かったです。

REPORT 「土曜おはなしかい(夏)」を開催しました



2024年7月6日(土)、8月3日(土)に、附属図書館を会場に「土曜おはなしかい(夏)」を開催しました。対象は3歳前後で、7月は子ども9名、保護者7名の合計16名、8月は子ども6名、保護者4名の合計10名の参加がありました。  
7月のおはなしかいでは、子ども学科の奥山優佳学科長がエプロンシアター(3びきのこぶた)、パネルシアター(そらはだかんぼ!)の他、紙芝居や絵本の朗読などを行いました。子どもたちはおはなしの内容に合わせて声を出したり、一緒にからだを動かしたりして楽しんでいました。おはなしの後は短冊に願い事を書いて笹に飾り付けをしました。子どもたちの思いの願い事で七夕飾りもにぎやかになりました。

REPORT 民俗芸能サークル「舞」の  
谷柏田植踊が今年度本格始動しました



東北文教大学の民俗芸能サークル「舞」が、2024年7月14日(日)、山形市谷柏の甲箭(こうせん)神社の夏季祭礼に参加しました。民俗芸能サークル「舞」と地区住民でつくる保存会により、甲箭神社で谷柏田植踊が約30年ぶりに奉納されました。「鎮守さま」で祭り芸能を盛り上げて地域活性化につなげようと、菊地和博先生が保存会に提案し、奉納が実現しました。学生10人の新メンバーで谷柏田植踊を披露しました。  
8月3日(土)には山形市下谷柏(しもやがしわ)地区の夏まつりに参加し、谷柏田植踊の公演を行い、地域の保存会の方とともに夏まつりを盛り上げました。メンバー同士教え合っ練習に励み、公演に参加し、これからも技術を高めていきます。



たくさんの人々が集い  
利用者みんなが  
笑顔になる図書館へ

## 讃岐 洸哉さん

SANUKI KOUYA

酒田市立中央図書館 / 株式会社図書館流通センター

「司書」に興味を持ったのは中学生の頃。本と関わる仕事がしたいと語る友人に共感を覚えたことから。中学・高校時代は片っ端から本を読みあさるほどの本好きになり、その経緯で司書資格が取得できる短大へ。就職活動中に、新しく開館する酒田市立中央図書館を運営する(株)図書館流通センターの司書の募集を運良く見つけられたことが、今につながっています。

図書館は酒田駅前交流拠点施設「ミライニ」内にあり、子どもから若者、大人まで幅広い年代の人々が集う場所。ですから、利用者が求める本を一緒に探したり、質問や要望に応えたり、意外にも人と関わる部分が多い仕事です。1年目は初めてのことがばかりで戸惑うことも。その中でも大学の司書課程で学んだことが実践でも生かされた実感があります。

2年目から事業チーム担当に。図書館業務と並行して、「ミライニ」が担う酒田駅前の活性化を目的としたイベントの企画・運営を行っています。ヘルスケアイベントでは医療関係者と連携しレクチャー会を開いたり、医療情報の発信や関連書籍の展示をしたり。ミライニシアターではサポーターと呼ばれるボランティアチームを立ち上げ、映画上映会を実施。その他、酒田をPRするための東京の大規模イベントへの参加や、ニュースポーツの普及、イベントポスターの作成、インスタグラム、ホームページの更新など、図書館の枠を超えた業務に携わることができています。

事業チームになった当初は、経験もない自分で大丈夫だろうかと不安に思ったことも。ですが、今はイベントの企画を考えているときはワクワクしますし、たとえ思うようにいかなかった場合でも「次はこうしたい」とアイデアを考えるのが面白いですね。参加者のリアルな反応を現場で感じられることもやりがい。現在は10月の大きなイベントに向けて奔走する日々。参加者の方々に笑顔になっていただくためにも、自分自身が楽しむ姿勢を大事にしていきたいです。

### 私の HISTORY

プロフィール  
2001年生まれ。秋田県立大曲高等学校出身。2022年東北文科大学短期大学部総合文化学科卒業。同年から酒田市立中央図書館に司書として勤務し、現在は事業チーム担当。

1年次

本が好きだったことから、司書の資格が取得できる東北文科大学へ進学

2年次

就職活動の後半、半分あきらめていた司書の求人を見つけた

21歳

事業チーム担当になり、イベントの企画・運営に携わる

ここがターニング Point!



自分で企画する楽しさを見出し、参加者のリアルな反応に刺激を受ける

現在

担当を任せられる仕事も増え成長を実感。柔軟なアイデアでイベント運営や広報業務に取り組み